

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社吉見板金製作所 )

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.9.5変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
1	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別は発生していないほか、人権尊重や差別禁止を就業規則に明記し、社長自らが研修講師として社内研修を行うほか、相談窓口の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント禁止を就業規則に明記するほか、社内研修の実施、相談窓口の設置を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	生体認証にて労働時間の把握に努めるほか、残業締め日の前には、時間外労働時間の長い従業員に個別に連絡し、過度な長時間労働を抑制している。								8.5 8.8									
4	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	10名ほどの外国人特定技能実習生および技能実習生がおり、差別は発生していないほか、日本の生活習慣指導を行っている(あいさつ、ゴミ出しetc.)。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働安全衛生管理者および安全衛生委員を定め、労働環境の改善に努めるほか、積極的なIT導入を進め、誰もが働きやすい環境を整備している。			3					8									
6	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルス対策として、定期健康診断の実施およびストレスチェックに基づくメンタルヘルスケアに取り組んでいる。			3														
7	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	従業員の3割を占める女性のほか、外国人労働者、再雇用者の高齢者が活躍できるよう、IT導入や就業時間や配置を柔軟にするなど取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	入社後6ヶ月は、毎月、社長/上長が面談をするほか、メンター制度(シスターブラザー制度)を導入し、従業員の人材育成とスキルアップに努めている。				4	5.5			8	9								
9	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働基準法に基き、対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	従業員が定期健康診断を受診し、健康状態の把握に取り組んでいる。(※チャレンジ項目なので空欄でも可)			3					8									
11	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	RPAを活用しており、今後ペーパーレス化にも取り組む予定である。また梱包資材の廃棄量を削減するため、リユース/リサイクルに取り組んでいる。											11.6	12		14.1			
12	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気の使用量を把握している。							7.3						13				
13	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	事務所や工場の電気使用量を把握管理し、省エネ設備導入や、太陽光パネル設置による自社利用を行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	労働安全衛生管理者による管理のほか、安全衛生に関する社内研修で有害化学物質に関する理解を深めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
15	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	金属や油による土壌や水質への影響を考慮し、保管場所や浄化水槽の設置を行い汚染防止に取り組んでいる。						6.6									15		
16	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	未利用部材や端材のリサイクルや不要/バレットのリユースなど、生産現場での3Rに工夫して取り組んでいる。												13		14.1			
17	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	生産現場ではほとんど水を使用しないが、事務所やトイレを自動水栓に切替え、水の使用量削減に意識して取り組んでいる。						6.4 6.6											
18	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。												12.6					
20	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。							7.2						13				
21	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。												12.2	13	14	15		
22	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、絶対に汚職が発生しないよう厳重に注意している。																16 16.5	
23	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	お客様に対して適切ではない契約が行われることの無いよう高い倫理観をもって厳重に注意している。																16	
24	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか、取引先と対話を行いチェックしている。								8.2 8.3	9								
25	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報管理規程を設けており、またルールブックの配布や社内研修を行っている。																16	
26	<input checked="" type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取扱いはない。																16	
27	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先からのCSRアンケートに対応し、対話を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していると記載			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
29	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	中期や年度でのKPI計画を定め、品質管理担当が中心となって不良報告会を全員に対して行うことで、社内での意識を高める取組みを行っている。			3.9									12.4					
30	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	作業指示書に基き生産を行い、品質検査による不良チェックを徹底し、品質向上に努めている。									9								
31	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。						6						12	13	14	15		
32	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	信頼の品質により、高耐久性の求められる医療用機器、器具の製造も取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域に根差した企業として、インターン受入れや職場体験の場を提供している。				4					9		11	12		14	15		17
34	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	「コミュニケーションデー」において、社員総出で地域のごみ拾いに取組んでいる。				4							11			14	15		17
35	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	YouTube動画で会社の雰囲気や、地元やUターン人材の採用にも取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
36	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を掲げ、年に一回の方針説明会には全社員を集めて会社方針を発表している。								8	9								17
37	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスに関する社内規定を作成し、コンプライアンス通報窓口を設けて運用している。																16	
38	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各部門に責任者を配置し、役割を明確にすることで体制を整備している。																16	
39	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーと継続的に対話し、連携してSDGsの実現に資する取組みを行っている。																16	17
40	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	問合せ対応としてトレーサビリティに対応できる取組みを行っている。																16	
41	□	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	取引先とのCSRに関する対話のほか、地域のごみ拾いなど、CSRに基いた企業活動に取り組んでいる。																16	
42	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPを策定しているほか、データバックアップや避難訓練など具体的な対策に取り組んでいる。									9		11		13 13.1			16	
43	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】今後の検討を進めていく。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
-------------------	--------	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----


【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成  
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載  
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定